

しているところですが。そうした中、市体育協会から建設実現の要望書の提出があり、地域の皆様の期待の大きさを感じています。十一月十一日には大館市・比内町・田代町と関係者により、地元出身の県会議員を含めた同盟会設立発起人会を開催し、同盟会加入を呼びかけたところ一市二町の首長、議長及び八十七団体から賛同を得、十一月二十三日「大館広域圏屋根付多目的グラウンド建設誘致促進期成同盟会」が設立しました。

天災融資・激甚災害法と 今年の稲作状況

政府は、九月二十八日の台風19号で被災した農家に対し、十一月十五日の閣議決定を経て十九日に天災融資法及び激甚災害法の適用を決定しました。これは、天災資金として被害農家に経営資金を低利で融資し、激甚災害にはその融資枠を拡大するというものです。

被害農家の資金借入状況は、県単農業災害資金の野菜・花き生産施設復旧資金に対する申し込みが二十四戸で、借入額は千二百九十三万円、畜舎復旧資金は一戸、二千万円で申請どおり認定されました。果樹被害農家への果樹倒木被害改植事業では、八十九戸で二千三百五十本、需要額は五百五十七万円の見込みです。今後さらに長雨に對しての天災融資法適用の見込みもあり、市としても被害農家の生産意欲が減退しないよう、災害復旧に全力を傾注して取

り組んでいますのでよろしくご理解賜りたいと思います。

次に稲の作柄についてですが、今年は七月中旬から出穂期にかけての降雨、断続的な低温、長雨により、水口部で青立ちや白ふの発生がみられ、それに追い打ちをかけるように台風19号が襲来し、二、三%の脱粒被害が生じました。県北での作況指数は八八、「著しい不良」で、過去十年間の最低を記録しました。平成三年度産米の出荷状況は、予約限度数量二十二万七千二百八十七俵（一俵六十グラム）に対し、売り渡し数量は八六・八%の十九万七千二百九十七俵で、四年連続の予約限度数量割れとなっています。

初の女性消防団員 50人を任命

最近、全国的に消防団員の高齢化やサラリーマン化が進み、消防団員の減少が著しい傾向にあります。これは本市においても同様です。この改善策として、平成三年十月一日付で女性消防団員五十人を補充しました。地域社会の災害予防分野で、女性のもつきめこまやかさや優しさといったソフトな特性を生かしていただきたいと思っています。また女性は家庭で火に接する機会が多いですから、子供の



りりしい制服姿の女性消防団員

上回る人出となりお陰様をもちまして成功裏に終えることができました。さまざまなメニューを取りそろえ、市民の皆様への生涯学習PRと参加促進という点では、一応の成果を上げたものと思っています。今後、それぞれの行事等について検討を加え、なお一層生涯学習の推進に努力していくつもりですので、ご協力をよろしくお願いたします。

その他の報告

- ▽大館能代空港の決定について（4、5ページをご覧ください）
- ▽きりたんぼまつりと郷土品まつりについて
- ▽二井田大橋の完成について
- ▽公共事業の発注と進行状況について

第1回生涯学習 フェスティバルについて

第一回大館市生涯学習フェスティバル「まなびア91」は、去る十一月二日から四日までの三日間、初めての試みとして「大館市郷土品まつり」と同時開催しました。

期間中は天候にも恵まれ、会場を中央公民館を核としてその周辺に配置したため移動が容易になったこともあって、予想を



下水道工事をはじめ、公共事業は順調に進んでいます

- ▽市立総合病院の医療訴訟について
- ▽脱スパイクタイヤ法施行に伴う市の対応について



台風禍、落下リングの山にぼうぜん